

TOTO

洗面化粧台・フロア・サイド・ウォールキャビネット

LDP67・68・77・78, LBP15N・30N, LYP15N・30N
LWP15N・30N・60N・75N

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

取付け後は、お客様にご使用方法を充分にご説明ください。

安全上の注意

- 取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

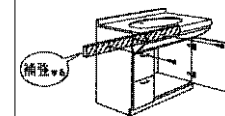
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
---	----------------------------

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付け完了後、引き渡し時にお客さまにお渡ししてください。

警告

壁固定ねじ取付位置に
栈を入れて補強してく
ださい
キャビネットが転倒しケガ
をするおそれがあります。



注意

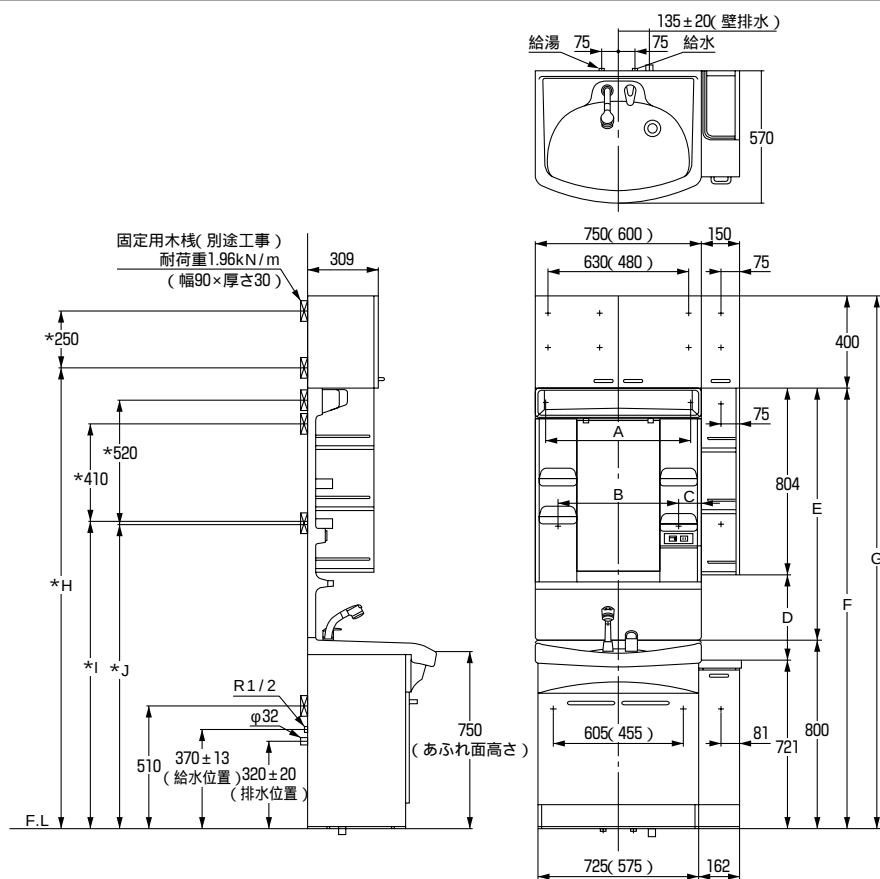
工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください 漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。		給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「業者」が行ってください 漏水の原因となります。		凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください 凍結破損で漏水し家財などに損害を与えるおそれがあります。		カウンター・洗面器の上にのらないでください 故障及び転落・転倒してケガをする原因となります。	
		浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください 木部の膨潤、変形によりキャビネットが外れてケガをするおそれがあります。		湯・水を逆に配管しないでください 水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。		工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください 使用中にキャビネット・扉が落下してケガをするおそれがあります。	

工事寸法

化粧鏡が一面鏡の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図はLDP77S + LMP74H + LBP15NL + LYP15NL + LWP15NL + LWP75Nタイプです。
その他の機種は、外観形状が若干異なります。
- *印の寸法は、木ねじ固定位置を示します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
LMP63・64タイプ	500	-	79.5	311	1036	1836	2236	1911	1276	1251
LMP73・74タイプ	650	-	105	311	1036	1836	2236	1911	1276	1251
LMP68・69タイプ	410	410	-	275	1000	1800	2200	1875	1235	1215
LMP78・79タイプ	410	410	-	275	1000	1800	2200	1875	1235	1215

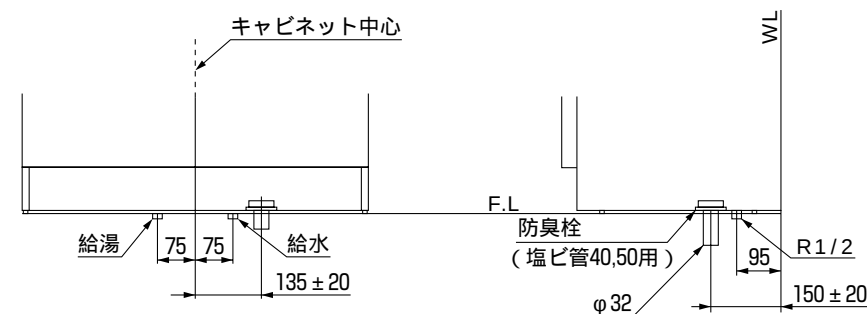


止水栓及び壁排水パイプは付属していませんので、必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

止水栓	壁給水	LTL316C1RU (2個)
	床給水	LT4BD6UV11 (2個)
壁排水パイプ		LTH521-3

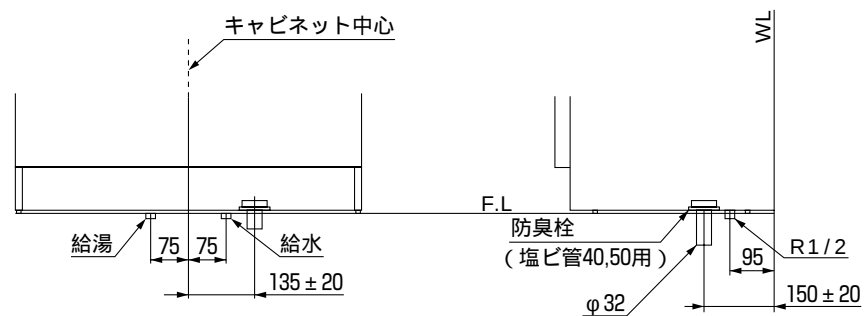
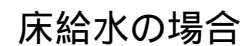
床給水の場合

(600・750サイズ共通)



- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図はLDP77S + LMP75H + LBP30N + LYP30N + LWP30N + LWP75Nタイプです。
- * 印の寸法は、木ねじ固定位置を示します。

止水栓	壁給水	LTL316C1RU (2個)
	床給水	LT4BD6UV11 (2個)
壁排水パイプ		LTH521-3



付属部品明細

化粧台 LDP

	名 称	数 量
1	水栓一式	1セット
2	排水トラップ	1セット
3	給水ふた	2個
4	排水ふた	1個
5	防臭栓	1個
6	水受けトレイ（ガイド付）	1セット
7	ふた用木ねじ（φ3×12）	7本
8	壁固定用木ねじ（φ4×45）	2本
9	座金	2個
10	ホースガイド	1個
11	ホースガイド取付けねじ（φ3.5×16）	2本
12	ヘアキャッチャー	1個
13	取扱説明書	1冊

フロアキャビネット LBP

	名 称	数 量	
		150サイズ	300サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ4.5×45）	1本	2本
2	座金	1個	2個
3	連結用木ねじ（φ4×25）	2本	2本
4	棚受ダボ	4個	4個

サイドキャビネット LYP

	名 称	数 量	
		150サイズ	300サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ4.5×45）	2本	4本
2	化粧キャップ	2個	4個
3	座金	2個	4個
4	棚受ダボ	-	8個

ウォールキャビネット LWP

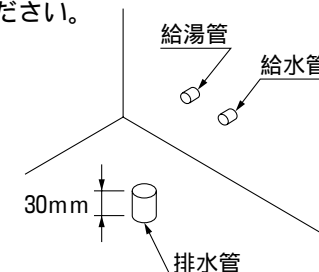
	名 称	数 量		
		150サイズ	300サイズ	600・750サイズ
1	壁固定用木ねじ（φ4.5×45）	2本	4本	
2	化粧キャップ	2個	4個	
3	座金	2個	4個	
4	把手	1個		2個
5	把手取付ねじ	2本		4本
6	連結用木ねじ（φ4×25）	2本		

設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取付けは必ず平滑な壁面としてください。

取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木棧を入れてください。
特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に固定用木棧を入れてください。
（壁面に固定用木棧が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取付けてください。）
- 給水・給湯管を所定の位置に取出してください。
- 器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に給水・給湯穴（φ52×2）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取出してください。
仕上げ面より約30mm立上げてください。
（排水管はVU40・VU50又は、VP40・VP50をご使用ください。）
排水管と仕上げ面の取出し穴にすきまがある場合は、メジシールでシールしてください。



使用条件

- 水栓金具の使用条件は、水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。

裏面に続く

タイル、コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけて木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。(プラグの下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

洗面化粧台取付手順

(番号順に取付けてください。)

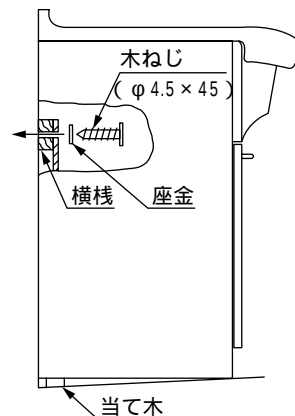
水栓の取付け

- 取付けについては、水栓金具に同梱されている施工説明書を参照ください。

化粧台の取付け

付属の木ねじ(2本)に座金を通し、確実に壁固定してください。

- 床が水平でない場合には、扉に段付きができるおそれがありますので丁番を調整して段付きをなくしてください。(調整要領は右側板内側にある丁番調整方法を参照ください。)
- それでもよくならない場合には、当て木をして水平になるように調整してください。

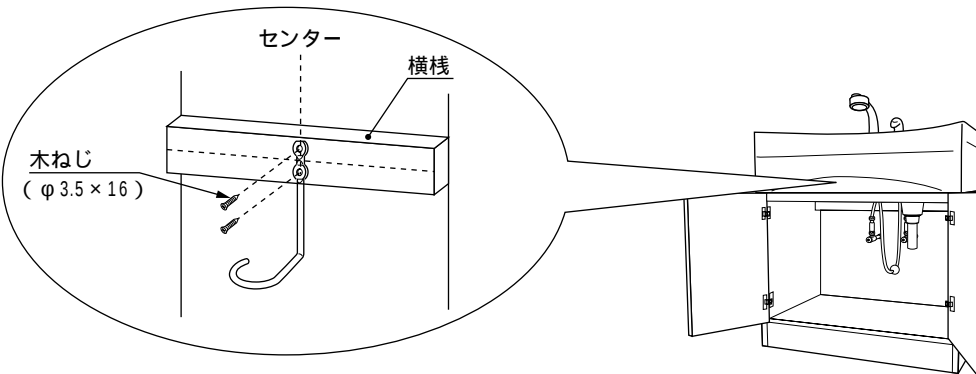


水栓金具の給水・給湯接続

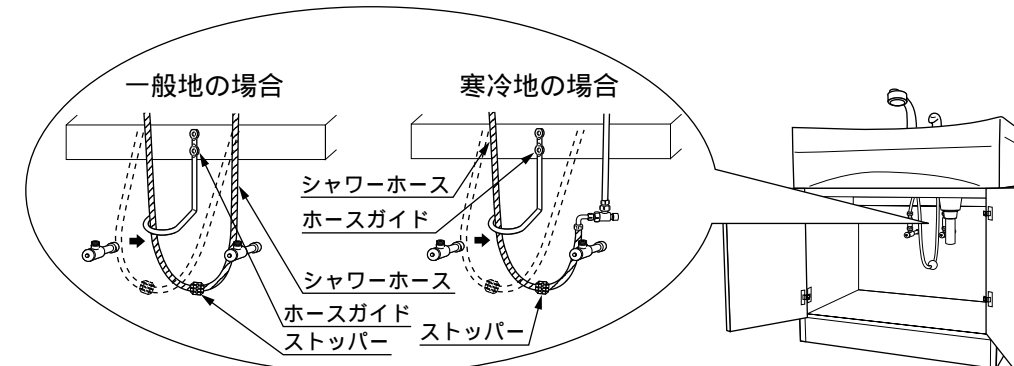
- 給水・給湯の接続は、水栓金具に同梱の施工説明書にしたがい接続してください。

ホースガイドの取付け及びシャワーホースの取付け

- ホースガイドの取付け
ホースガイドは、キャビネットの後方にある横棧の中心に取付けてください。



- シャワーホースの取付け
シャワーホースを図のようにホースガイドに通してください。

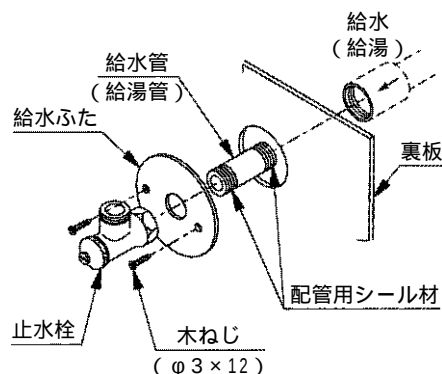


シャワーホースが納まりにくいときはストッパーの位置を動かし、シャワーホースの出代を短くしてください。

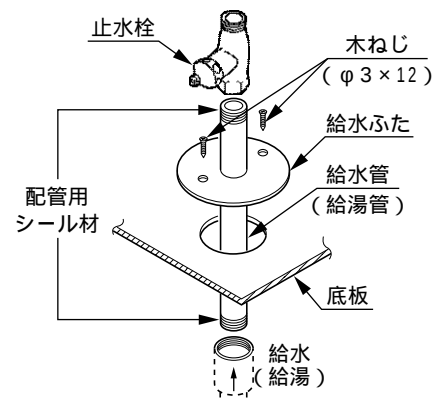
止水栓の取付け

- 止水栓は工具で確実に締付けてください。

● 壁給水の場合



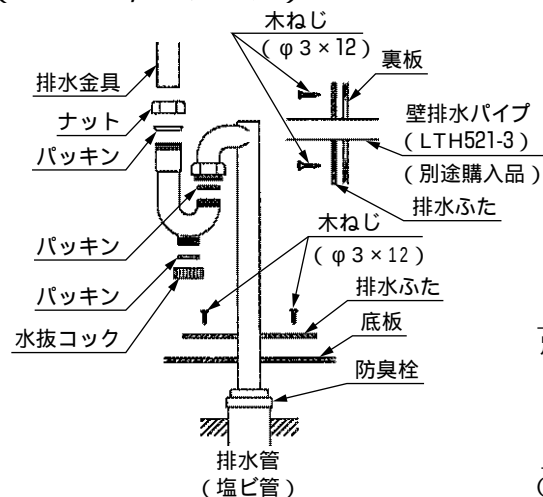
● 床給水の場合



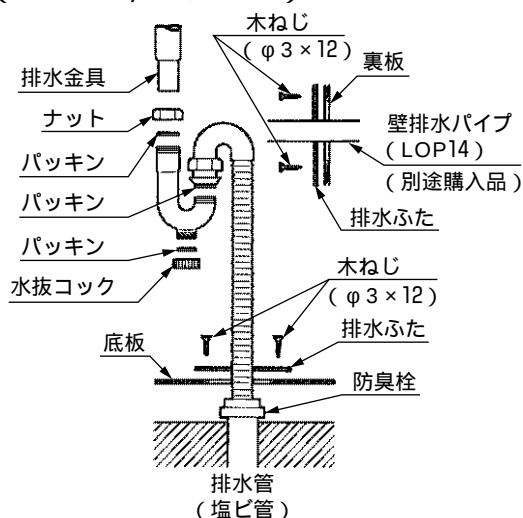
排水トラップの取付け

- ナットは確実に締付けてください。(工具は使用しないでください。)
- 床排水の場合は、排水管に防臭栓をはめて排水パイプを差込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプタ(下表)で確実に接合してください。

(LDP67, 77タイプ)

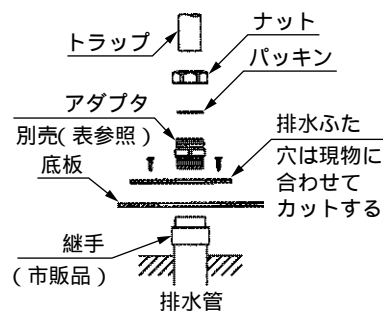


(LDP68, 78タイプ)

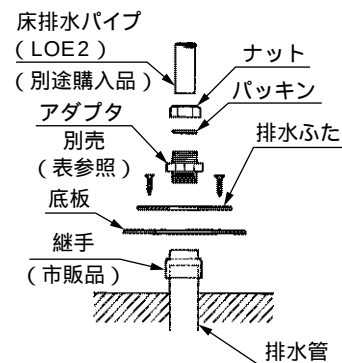


集合住宅、高層住宅の場合

アダプタの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1¼
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用



集合住宅、高層住宅の場合

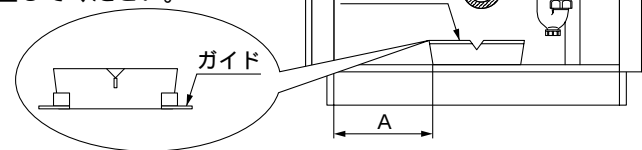


排水パイプは別売のLOE2をご使用ください。

水受けトレイの取付け

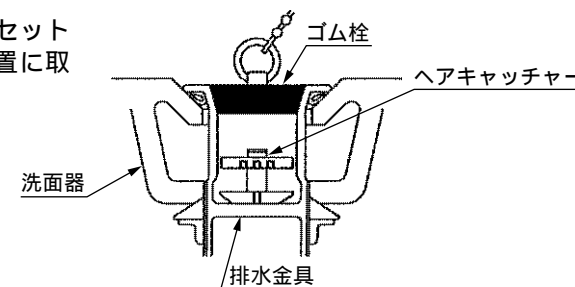
- 水受けトレイを図のように付属のガイドで固定してください。ガイドは両面テープで固定しますのでガイド設置面のホコリ・汚れ等を完全に取除き、両面テープのセパレート紙のみをはがし、設置面に押し付け、貼付けてください。シャワーホースを伝わる水が受けられるように必ず水受けトレイを設置してください。

間口	A
600サイズ	175
750サイズ	250



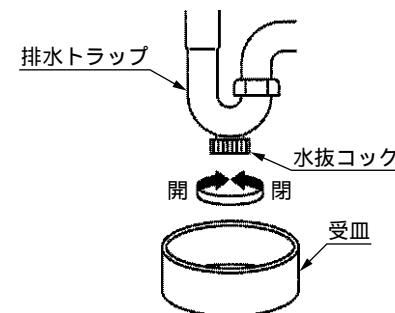
ヘアキャッチャー及びゴム栓の取付け

- ヘアキャッチャー及び、水栓本体にセットされているゴム栓を排水口の図の位置に取付けてください。



寒冷地タイプの水抜方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。
- (水栓の水抜き)
水栓の水抜については、水栓金具の施工説明書を参照してください。
- (排水トラップの水抜き)
水受けの容器を置き排水トラップの水抜コックを開けてください。水抜き後は、必ず水抜コックを確実に閉じてください。



フロアキャビネットの取付け

(この施工説明書はRタイプの場合を示します。Lタイプの場合は、これと対称になります。)

壁固定・棚板の取付け

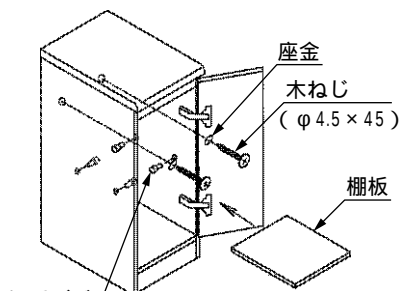
- 付属の木ねじ (150サイズ1本、300サイズ2本) に座金を通し、確実に壁固定してください。

壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。

床が水平でない場合には、扉が傾くおそれがあります。

傾いている場合は丁番で調整してください。(調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。)

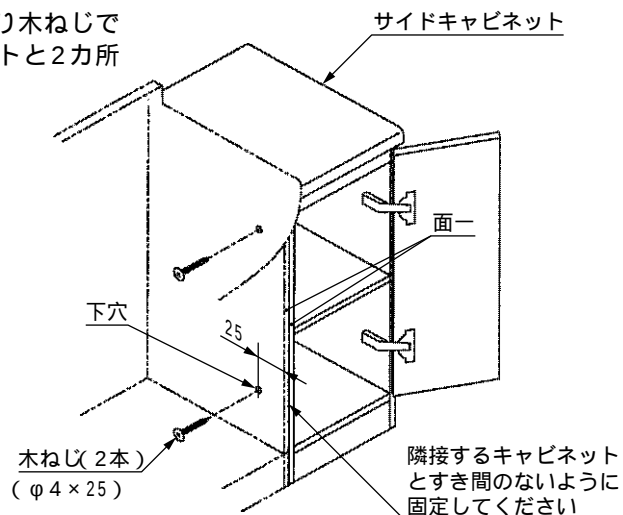
- 棚受ダボを棚受ダボ用穴に差し込み棚板をのせてください。



(図は300サイズを示す)

キャビネットの連結

- 木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
- キャビネット内側より木ねじで隣接するキャビネットと2カ所固定してください。



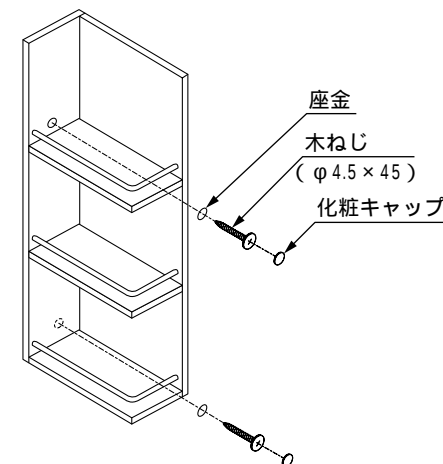
サイドキャビネットの取付け

壁固定・棚板の取付け

(150サイズの場合)

- 付属の木ねじ (2本) に座金を通し、確実に壁固定した後、化粧キャップを取付けてください。

壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。



(300サイズの場合)

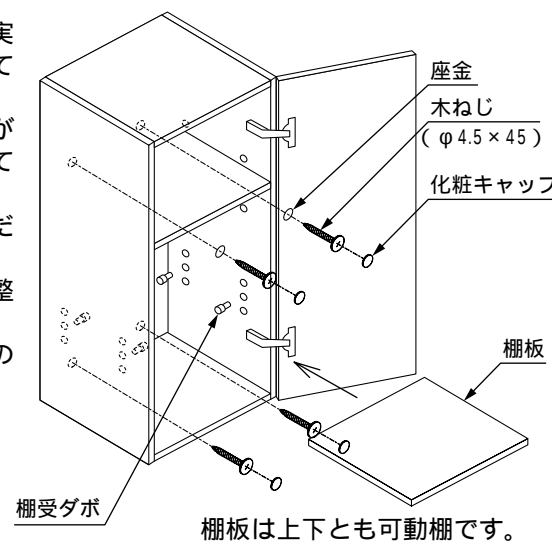
- 付属の木ねじ (4本) に座金を通し、確実に壁固定した後、化粧キャップを取付けてください。

壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。

扉が傾いている場合は丁番で調整してください。

(調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。)

- 棚受ダボを棚受ダボ用穴に差し込み上下の棚受をのせてください。

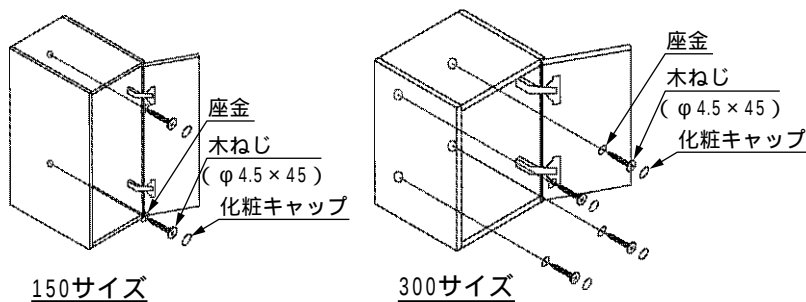


ウォールキャビネットの取付け

壁固定

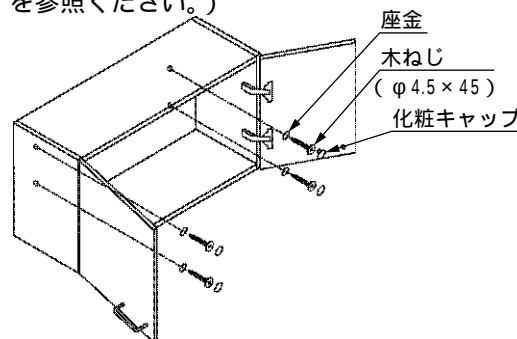
(150・300サイズの場合)

- ウォールキャビネットはサイドキャビネットの上のせて水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ(150サイズ2本、300サイズ4本)に座金を通し、確実に壁固定した後、化粧キャップを取付けてください。
壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
扉が傾いている場合は丁番で調整してください。
(調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。)



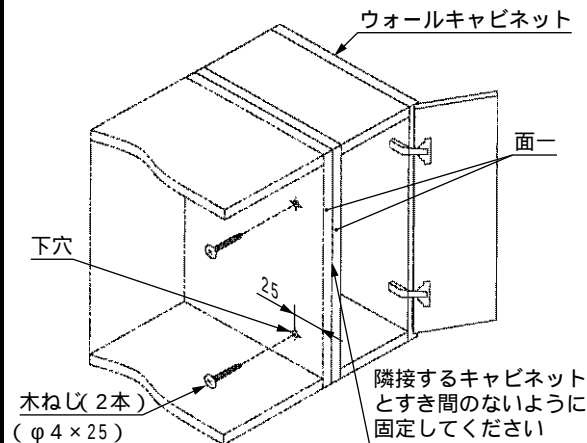
(600・750サイズの場合)

- ウォールキャビネットは化粧鏡の上にのせて水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ(4本)に座金を通し、確実に壁固定した後、化粧キャップを取付けてください。
壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。
扉が傾いている場合は丁番で調整してください。
(調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。)



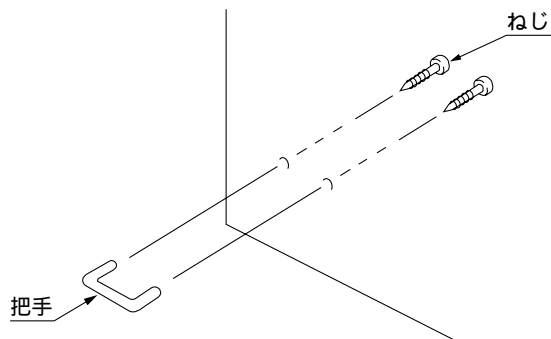
キャビネットの連結

- 木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
- キャビネット内側より木ねじで隣接するキャビネットと2カ所固定してください。



把手の取付け方法

- 同梱の把手を把手取付ネジにて取付けてください。



取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 扉が傾いていないか確認してください。
(調整要領は化粧台右側板内側の丁番調整方法を参照ください。)
- 扉の傾き・ガタツキなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 製品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
その後、水を湿らせた布に中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。